

## 神奈川県立小田原東高等学校 令和7年度 第1回学校運営協議会 開催結果

開催日時 令和7年6月3日（火）15:00～16:30

開催場所 小田原東高等学校 会議室

### 議事録

#### 1 開会挨拶

#### 2 校長挨拶

- ・今年度はシチズンシップ教育に金融教育を入れて3年間の取組を行っていく。
- ・DXハイスクールに採択されたので、情報教育についても力を入れていく。
- ・デュアルシステムなどの新しい取り組みにも挑戦していく。
- ・働き方改革、業務の効率化を推進していきたい。

#### 3 令和7年度学校運営協議会委員委嘱

#### 4 学校運営協議会委員及び本校職員紹介

#### 5 会長選出

#### 6 報告事項

##### (1) 学校教育計画、グランドデザイン等について（校長）

- ・現行の教育課程になって3年経過した。今の時代にあった教育課程に変更していく可能性もあるので見直しを進めていきたい。

##### (2) 令和6年度学校評価報告書（実施結果）について（副校長）

- ・ICTを利活用した授業の展開を行った。
- ・生徒情報共有会、かながわ子どもサポートドッグをそれぞれ年2回実施し、生徒に寄り添った指導・支援を行った。
- ・学校行事に関するアンケートはプラスの評価が多かった。
- ・きめ細かい進路指導を行った。
- ・ボランティアへの積極的な参加、近隣の小中学校との連携事業を継続していく。
- ・PTAの参加率は高いが、保護者の負担軽減策を模索していく。

#### 7 協議事項

##### (1) 令和7年度 学校評価報告書（目標設定）について（副校長）

- ・総合ビジネス科の魅力の発信を進めていきたい。
- ・電子黒板の導入、ICT機器を用いた授業改善、1人1台端末については保護者の負担も考えて再考の必要がある。
- ・教育課程については本校の実態に即したものに改善していく。
- ・ICTを活用した授業、生徒の学習意欲を高められる授業を展開できるように研究授業などを行っていく。
- ・学校行事が学校目標に合っているか確認しながら実施していく。
- ・ICTを活用して情報提供を行っていく。
- ・ボランティアへの積極的な参加、他校種との連携を行っていく。
- ・さまざまな災害を想定した避難訓練を実施していく。
- ・PTA活動にできるだけ参加していただけるような運営の仕方を模索していく。
- ・不祥事防止、自分事として捉えられるような研修を実施していく。

(2) 学校運営協議会 組織編成について（副校長）

(3) 各グループより

○運営グループより

- ・様々な災害を想定した避難訓練（富士山の噴火など）を実施する。
- ・小田原市との連携を行っていく。
- ・DIG研修は一年生対象に実施する。地域のことに詳しい講師の招聘を行っていく。
- ・PTA会費の減少にともない、活動の精選が必要となっている。

○学習グループ

- ・ICTを活用した授業を展開してもらうよう研究授業を行っていく。
- ・採点システムの導入をするために、4月から試用を開始している。

○進路グループ

- ・基礎力診断テストのWeb版での実施を行っていく。
- ・進路ガイダンスの内容を文章にしてHPに掲載していく。
- ・奨学金、多子世帯支援の説明資料をマチコミメールで保護者に配信していく。
- ・3年生進路希望調査（6月2日）では進学希望男子55名・女子33名、就職希望男子29名・女子33名となっている。

○生活グループ

- ・朝の登校当番と交通安全指導を継続して行っていく。
- ・教育相談 SC, SSW参加による生徒情報共有会を継続して行っていく。
- ・「アウトリーチ相談支援事業」の指定2年目となり、効果的な支援を継続的に行っていく。

○特別活動グループ

- ・学校行事は生徒会本部役員が主体的に発信する形で行っていく。
- ・地域貢献活動として酒匂川河口及び海岸清掃美化活動を行っていく。
- ・部活動加入率50%程度と昨年より10%減少した。
- ・昨年度に引き続き夏休みを利用して、白鷗中学校との部活動交流を行っていく。

○連携グループ

- ・学校説明会では生徒がスタッフとなってPRできるようにしていく。
- ・HPの更新頻度を増やしていく。
- ・デュアルシステムでは地元企業との連携を行っていく。

○専門学科商業

- ・検定・資格の取得ができるよう科として対応をしていく。
- ・商業の競技大会では全国大会につながるように対応していく。
- ・DXハイスクール事業の採択校となった。デジタル等成長分野を支える人材育成を進めていく。

○高校生ショップ城湯屋

- ・全公立展では『小田原おでん石鹸』を販売する。
- ・さがみ信用金庫100周年記念イベントへ参加する。

(4) 学校生活支援部会について（教頭）

- ・SC、SSWを配置。アウトリーチ相談支援事業を通して、さまざまな課題を抱えている生徒への対応をしていく。
- ・金融教育を柱としてシチズンシップ教育を令和7年度より3年間指定を受けた。

- ・ オフィスカジュアルデーの導入を検討しており、試行を行う予定である。
- ・ 学習環境の整備

#### (5) 委員からの意見聴取

- ・ 防災について 避難訓練は事前に周知せずに行うことで課題を洗い出すことができる。また、実践的な訓練となり有事の際の対応力があがる。  
→昨年度より日にちだけ決めて時間は知らせずに行う計画は出ているが、実施には至っていない
- ・ 防犯の訓練の計画はあるか。在学中に1回でも実施したほうがよい。  
→検討をしていく。
- ・ SC, SSWの性別の比率は決まっているか  
→学校からの指定はできないが、要望は可能
- ・ DXハイスクール 生成AIのガイドラインはあるか  
→情報処理、情報Ⅰの授業の中で取り扱っているが、学校としてまだしっかりとしたものがあるわけではない。
- ・ 商業高校を卒業することによって得られるメリットを中学生にも伝える  
→授業の延長線上に資格取得があり、将来に繋げられるようにしていきたい。
- ・ 総合ビジネス科選ぶ生徒は何が魅力と捉えているのか  
→目的意識がはっきりしている生徒が多い、とりあえず普通科という生徒もいる。  
中学校の先生にも総合ビジネス科について知っていただきたい。
- ・ 昨年度支援学校との交流は実施できなかった理由はなにか、今年度は実施する計画はあるか  
→昨年度は日程の調整ができず実施できなかった。今後も交流を続けていきたい。

#### <以下意見聴取のみ>

- ・ 去年の分析結果と今年度の計画に整合性はあるか。
- ・ 今年の求人はい多い見込み。若年層を求める企業も多い。
- ・ 訓練について  
津波訓練の数を増やした方がよい。また、事前告知なしの訓練も検討した方がよい。防犯訓練の実施も必要となる。不審者が入ったときの放送内容、バリケードの作り方など生徒もしっかりと対応できないと不安がある。夏休みに教員対象の不審者対応の研修も実施している。
- ・ 国道1号線沿いという立地上、交通事故が起こりやすい。登校当番と交通安全指導は大事となる。
- ・ HPの更新、中学校へのPRとなる。毎日学校の様子が更新されていれば生徒も安心して受検できるかもしれない
- ・ HPの更新頻度が低い
- ・ 1人1台端末は授業で活用できているか スマホでできることはスマホを使っている
- ・ もっとペーパーレス化して電子化できないか
- ・ DXをうまく活用する 商業高校の活性化のためのツールにする

#### 8 その他

##### (1) 次回開催予定について

令和7年10月上旬予定

#### 9 閉会の挨拶